



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- \*首都圏1都3県はいずれも45分と全国で最も長くなります。
- \*通勤時間が長い人は、通勤時のストレスや時間の制約などで幸福度が下がる傾向。

順位	都道府県	時間 (分)	前回 2016 年との差
5	大阪	42	-2 分
5	兵庫	42	0
7	奈良	40	-5
9	京都	39	-1
全国平均		38	-3
14	滋賀	36	-5
40	和歌山	28	-2

(2023年2月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (3) **被害者宅の資産 事前確認 「アポ電」年12万件**

#### **前年比2割増 広域強盗でも利用？**

\*「アポ電」と呼ばれる予兆電話で、2022年に全国で前年比2割増の約12万件を確認。

\*特殊詐欺のやり方を流用。

\*家族構成や資産状況などを聞き出し、独り暮らしの高齢者や資産家などのリストをもとに電話をかけていると見られます。

\*2019年4月に統計を始めてから最多。

#### **知らぬ電話 留守電話活用を SNSで居場所発信注意**

\*アポ電に出てしまうと、言葉巧みに個人情報を読み出される恐れ。

\*相手の番号が表示される電話機を使い、知らない番号であれば留守電の内容を確認してから対応。

\*自宅が留守だと示す情報を犯人側に与えないことが重要。

\*車による下見で、犯行グループが住宅や周辺の防犯カメラの設置場所などを確認。

\*事前に下見した家にシールやテープなどで印をつける「マーキング」と呼ぶ手法が使われることも。

\*グループ内の実行役に情報を与えて犯行を手助けする目的。

\*自宅周辺や近所の様子に普段と異なることがないか、十分に気を配ることも重要。

(2023年2月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(4)  **都道府県ランキング 時間編 睡眠**

**大阪・兵庫、都市圏短く コロナ下、全国平均伸びる**

- \*先進国で最も短い日本人の睡眠時間。
- \*2021年に平日の睡眠時間が1976年の調査開始以来初めて増えました。
- \*2021年の平日の睡眠時間は、10歳以上男女の全国平均で1日462分（7時間42分）と前回の2016年調査より13分増。
- \*上位は農業県で、縮絨近接で暮らす人が多く、通勤・通学時間が短いのが特徴。
- \*下位には長時間の通勤・通学が当たり前の大都市圏が目立ちます。
- \*通勤・通学時間が短い都道府県ほど、睡眠時間は長い傾向。
- \*通勤・通学時間が40分以上の8都府県は平均459分、30分未満の9道県は平均471分。
- \*ベッドタウンの色合いが濃い県ほど睡眠時間が増えています。
- \*通勤・通学時間の短縮幅が大きい都道府県ほど睡眠時間の増加幅が大きい傾向。
- \*未成年や高齢者よりも現役世代で大きく睡眠時間が伸びています。
- \*経済開発協力機構（OECD）の2021年調査
- \*日本人の平均睡眠時間は7時間22分と、加盟30か国で最短。
- \*加盟国平均は8時間24分。

順位	都道府県	時間（分）	前回2016年との差
1	青森県	480	7分
2	高知県	477	12
23	滋賀県	466	15
	和歌山県	466	8
33	京都府	463	14
36	奈良県	462	19
全国平均		462	13
42	大阪府	459	12
44	兵庫県	458	14
46	東京都	455	12
47	神奈川県	454	13

（2023年2月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(5)  **石こうボード出荷量 0.5%増 昨年**

- \*石膏ボード協会がまとめた 2022 年の石こうボード出荷量は、前年比 0.5% 増の 4 億 5721 万M2。
  - \*前年実績を上回ったのは 3 年ぶり。
  - \*主に貸家向けの需要が伸びました。
  - \*約 7 割が住宅向け。
  - \*出荷量は新設住宅着工戸数の動向から 4 カ月ほど遅れて連動する傾向。
  - \*2023 年の石こうボードの出荷量について、約 4 億 3000 万M2 の見込み。
  - \*2010 年以来の低水準。
- (2023 年 2 月 14 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(6)  **都道府県ランキング 時間編 食事**

**「よくかむ」長野 最長 103 分 コロナ下、短縮傾向**

- 2021 年 10 月総務省の社会生活基本調査 10 歳以上対象
- \*平日の 1 日のうち食事に充てた時間は平均 96 分。
- \*働いている人に限ると 89 分。
- \*調査が始まった 1976 年以降で最短。
- \*最も長いのは長野県で 103 分。
- \*長野と秋田、山梨は過去の調査でも概ね 100 分以上と長い傾向。
- \*長野県民の野菜摂取量は男女ともに全国最多。
- \*最も短いのは 91 分の山口、香川、沖縄。

順位	都道府県	食事時間	前回 2016 年との差
4	奈良	100	0
9	大阪	99	1
	兵庫	99	0
18	京都	97	-3
20	和歌山	96	-1
全国平均		96	-2
31	東京	94	-7
37	滋賀	93	-6

(2023 年 2 月 17 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(7)  「カスハラ」被害、後絶たず 国は対策マニュアル

コロナ禍、2割超が「増えた」 ストレスで怒りやすく

\*顧客や取引先による著しい迷惑行為「カスタマーハラスメント(カスハラ)」の被害が後を絶ちません。

\*労働者の2割超が新型コロナウイルス禍でカスハラが増えたと答えた調査結果。

\*厚生労働省は、顧客や取引先のクレームや言動のうち、要求の妥当性を欠いたり態度が社会通念上ふさわしくなかったりして労働環境が害されるものをカスハラと定義。

\*長時間の電話や拘束、謝罪の要求のほか、SNS(交流サイト)やインターネットで従業員の名前をさらすなどプライバシーの侵害も該当します。

\*連合が2022年10月に18~65歳の労働者1000人に実施した調査では、コロナ禍以降にカスハラを受けた人は13.5%。

\*パワーハラスメントは23.3%、セクシャルハラスメントは8.1%。

(2023年2月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(8)  「飲み過ぎ」コロナ下で悪化

アルコール性肝疾患死1割増 国、適量示す指針策定へ

\*アルコール性肝疾患の推定患者数は、2020年に5万人を上回りました。

\*同疾患による死者は1996年には2,403人でしたが、2021年には6,016人と四半世紀で2.5倍となりました。

\*国内の酒類消費量は減少傾向にありますが、過度な飲酒をする人が増えているよう。

\*独り暮らしで孤独を感じる高齢者らが増え、飲酒量を抑えられない人が多くなっています。

\*コロナ下でストレスが増し、在宅の時間が伸びる中で飲み続ける人も増えたようです。

\*2021年のアルコール性疾患による死者は、コロナ前の2019年より約1割増加。

\*潜在的なアルコール依存症は約57万人。

\*厚生労働省は、2022年10月に飲酒ガイドライン作成検討会を発足。

\*年齢や性別、体質ごとに飲酒量の目安を2023年度中に示します。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこゝろ、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

\*アルコール代謝の過程で発生する有害物質「アセトアルデヒド」を分解する酵素の働きが弱い人は、日本人の40%。

\*酵素がない人も4%。

\*1日当たりアルコール度数5度のビール1ℓ、あるいは同15度の日本酒2合を飲み続けると、生活習慣病のリスクが高まります。

\*女性や高齢者、顔が赤くなりやすい人は、その半分が目安。

(2023年2月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## (9) 都道府県ランキング 時間編 休養・くつろぎ

和歌山が2位 113分 コロナ下、家族で会話重視

### ●総務省の社会生活基本調査

\*2021年に家族団らんなどを示す休養・くつろぎの時間が1976年の調査開始以来、最も長くなりました。

\*2021年の平日の休養・くつろぎの時間は10以上男女の全国平均で1日106分（五時間46分）と、前回の2016年調査より17分増えました。

\*上位都道府県は、会食よりも家族団らんを重視する傾向。

\*交際・付き合いの時間が短い都道府県ほど、休養・くつろぎは長い傾向。

\*在宅勤務が増えた人は、そうでない人に比べて休養・くつろぎの時間が延びる傾向。

\*休養・くつろぎの時間は、15歳以上の男女とも106分と差はありません。

\*1990年代などには男女間に最大で6分の差。

\*男女差が解消したのは、調査開始の1976年以来初めて。

\*2006年公表の国際比較調査によると、日本の父親が平日に子どもと過ごす時間は3.1時間で、母親（7.6時間）との差は4.5時間。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

順位	都道府県	休養・くつろぎ の時間	前回 2016 年との差
1	北海道	115 分	19 分
2	和歌山県	113	15
5	滋賀県	111	14
26	東京都	106	18
	兵庫県	106	13
全国平均		106	17
34	京都府	105	20
39	奈良県	103	8
42	大阪府	102	21
47	沖縄県	94	9

(2023年2月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (10) ゼネコン、不動産が収益源

### 清水建設、REIT組成 鹿島、高級物件を開発

- \* 大手ゼネコンの不動産開発投資の稼ぐ力が向上。
- \* 清水建設は、私募不動産投資信託（REIT）を組成。
- \* 鹿島は銀座などでの高級物件開発に乗り出しました。
- \* 大成建設も 2024年3月期中の私募REITの組成を目指し資産運用会社を設立。
- \* 大林組も含めた大手4社の今期平均では、不動産開発を中心とした非建設事業の粗利益率は24%超。
- \* 5年前の19%強から上昇。
- \* 建設事業の粗利益率である完成工事総利益率は9%弱。
- \* 粗利益額は完成工事総利益の約3割。
- \* 不動産投資を強める背景には、建設事業の稼ぐ力の低下があります。
- \* 連結全体の純利益も低迷。
- \* 鹿島は2019年3月比で4%減。大林組と大成建設は4割前後減。清水建設はほぼ半減。

(2023年2月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

